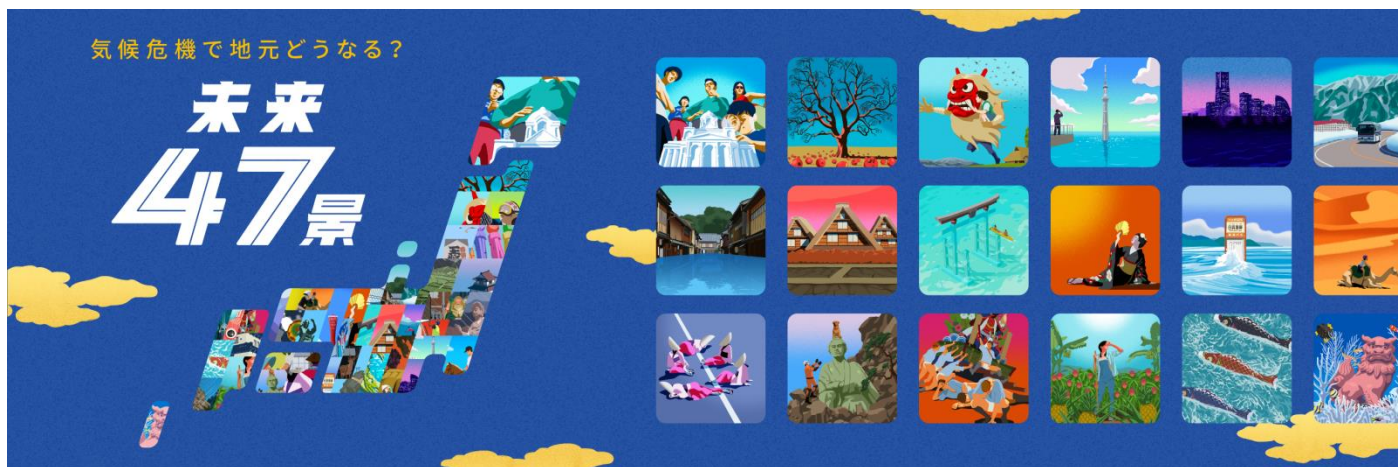


東京スカイツリー®がウォーターツリーに！？熊谷、新記録更新中！？
47都道府県に迫る気候危機を描く「未来47景」を公開

6月の環境月間をきっかけに環境問題への意識を高めよう！

公益財団法人世界自然保護基金ジャパン（東京都港区 会長：末吉竹二郎、以下WWFジャパン）は、6月の「環境月間」に合わせ、世界的な気候変動による危機が私たちの身近な場所でも進行していることを周知するため、都道府県を入力すると、その地域に起こり得る今世紀末の未来が見られる特設サイト「未来47景」を2020年6月25日（木）より公開いたします。



未来47景 特設サイト： <https://www.wwf.or.jp/mirai47kei/>

今や地球温暖化は「気候危機」と言われ、国際社会が十分な対策をとらなければ21世紀末には約4℃気温が上昇し、海面上昇や生態系の損失、台風の強大化など多くの影響が懸念されています。気候危機は自然界の動植物はもちろん、猛暑に伴う熱中症患者の増加や、洪水被害、感染症を媒介する蚊の生息域の拡大など、我々人間の暮らしにも甚大な被害を及ぼします。私たちの身近な地域もその例外ではありません。

WWFジャパンは気候危機に警鐘を鳴らし、温暖化対策を促すための活動を行っています。今回、気候危機に対して多くの方が目を向け、身近に感じて欲しいとの思いから、日本で予測される未来の気候危機を都道府県別に表した「未来47景」を制作いたしました。東京都では、東京スカイツリー®が強大化する台風による洪水で水に浸かってしまったり、埼玉県では、気温上昇によって暑さで有名な熊谷の温度計がMAXに振り切れてしまったりと、都道府県別で起こりうる気候危機を描いています。出身地や現在お住いの都道府県名を入力すると、その地域の未来をイメージさせるイラストと解説が表示され、気候危機について学び、一人ひとりにできるアクションを知っていただくことができます。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を環境の側面から見てみると、経済活動の停滞に伴い、エネルギー消費が抑制され、二酸化炭素排出量が減少しているとの推計もあります。しかしこの現象は一時的なものであり、再び化石燃料依存型の経済活動に戻るならば、二酸化炭素排出量も元に戻ってしまいます。コロナ後の経済回復については温暖化対策の視点を交えて検討・実施し、脱炭素社会への移行につなげていくことが重要となります。

「未来47景」では気候危機の防止に向けて、自治体や団体の皆様に掲出いただきたいポスターの公開や、一般の方に実施いただきたいアクションを提案しています。

WWFジャパン プレスリリース一覧 <https://www.wwf.or.jp/press/>

このプレスリリースと関連資料はWWF ジャパンのウェブサイトでもご覧いただけます (<http://www.wwf.or.jp>)
WWF(世界自然保護基金)は、世界約100カ国以上で活動している地球環境保全団体です。
WWF- World Wide Fund For Nature

「未来47景」体験フロー

名称：未来47景 開始時期：2020年6月25日(木)～
特設サイト：<https://www.wwf.or.jp/mirai47kei/>

「未来47景」の使い方



47都道府県ポスターフリーダウンロードを実施！

自治体や団体の皆様向けに「未来47景」で使用されている都道府県別のイラストを活用したポスターも作成。下記URLよりご自由にダウンロードいただけますので是非、町の掲示板への掲出やSNSなどでの情報発信にご活用ください。

市民の皆様にご意識を持って行動いただくことが大切です。「気候危機」を自分事として認識してもらい防止に向けた行動を促すために、ご協力をお願いいたします。

【ポスターダウンロードURL】

<https://www.wwf.or.jp/campaign/mirai47kei/download.php>

▶ポスター例：東京都



後援

賛同団体

「未来47景」では地球規模で起こっている気候危機の解決に向けて、さまざまな団体とともに、広く社会に問題提起しています。

環境省



気候変動
イニシアティブ



プラン・インターナショナル



東京動物園協会



横浜市温暖化対策統括本部

WWFジャパン プレスリリース一覧 <https://www.wwf.or.jp/press/>

「未来47景」イラスト解説 (一部抜粋)

■東京都

東京スカイツリー®が、 ウォーターツリーに!?

気温が4℃上昇すると、集中豪雨や台風の激化により現在の約4倍洪水が発生しやすくなると言われています。荒川が氾濫すれば、23区の3分の1が水につかるとの想定も。スカイツリー®から望む景色が一面水浸し、という未来を引き起こさないために、今から対策が必要です。



■埼玉県

新記録、更新中!?

気候危機が進むと、今世紀末には日本の平均気温は約4.4℃上昇、30℃を超える真夏日も、現在の倍の年間100日以上になるという予測があります。41.1℃の国内最高記録を持つ「日本一暑い街」埼玉県熊谷市。未来の気温は、どこまでいってしまふのでしょうか。熱中症から多くの命を救うためにも、今からできる「暑さ対策」があるはずです。



■千葉県

九十九里浜が、ゼロ里浜に!?

このまま気候危機が進むと、海面上昇により、千葉県の砂浜面積が今世紀末までに少なくとも50%以上消失する可能性があると言われています。全長約66kmにも及ぶ九十九里浜の砂浜も、人気の乗馬アクティビティで駆けることができないほど、侵食されてしまうかも。気候危機は、千葉県の海辺の風景も暮らしも一変させかねない問題です。



■神奈川県

みなとまで、海の中!?

気候危機により、今世紀末には日本全体の平均気温が約4.4℃上昇すると予測されています。気温上昇によって世界の氷河の融解などが進むと、海面は最大82cm上昇するという予測も。神奈川県でも、高潮や津波により浸水するリスクが高まりかねません。多くの人たちに愛されてきた美しい港と海の未来は、私たち一人ひとりに託されています。



■北海道

雪まつりがスモール化!?

気候危機が進むと、北海道の総降雪量は大きく減少すると予測されています*。「さっぽろ雪まつり」が開催される冬の札幌の平均気温は、今世紀末には現在より約5℃上昇するとの予測も。毎年私たちが驚かせてくれる大雪像も、未来はすっかりスケールダウンしているかも。北海道の冬の幸も、様変わりしているかもしれません。

*内陸部を除く（札幌は含まない）



■沖縄県

サンゴが消えたら、悲しーさー!?

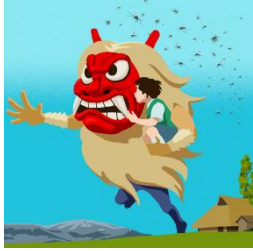
気候危機により気温が2℃上昇すると、サンゴの99%が消失すると言われています。今世紀末には平均気温が約4.4℃上昇すると予測されている日本。沖縄の海にとっては、待ったなしの問題です。白化したサンゴの海には、豊かな生態系も育まれません。「母なる海」を未来の子どもたちにつなげられるのか、私たちにかかっています。



■秋田県

なまはげより、怖い生物襲来!?

気候危機は気候だけに起こる問題ではありません。日本の平均気温が上昇すると、デング熱などの感染症を媒介するヒトスジシマカの分布域も北へ拡大。今世紀末には秋田県にまで達するという予測があります。病気のリスクに怯え「悪い蚊は、いねがー?」と逃げ惑う未来は、なんとか防ぎたいものです。



■富山県

雪の大谷、小谷になる!?

このまま気候危機が進むと、今世紀末には富山県の平均気温は約5℃上昇、北アルプスの積雪量も大幅に減少するという予測があります。立山黒部アルペンルートの春の風物詩、大迫力の「雪の大谷」の風景も、すっかり様変わりしてしまうかも。ライチョウをはじめとする立山連峰の希少動植物も姿を消してしまうかもしれません。



WWFジャパン プレスリリース一覧 <https://www.wwf.or.jp/press/>